

2025年度三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

計画タイトル※申請書と同じタイトルを記載すること	採択コース
最先端ロボット支援下肢リハビリテーションに関する学修	Aコース

学生情報	
氏名	山本 直希
所属学部・研究科	工学部総合工学科機械工学コース
学年(出発時)	4年

渡航先情報	
渡航先	アメリカ
渡航先滞在期間	2025年08月25日から2025年09月12日
訪問先機関等	マサチューセッツ工科大学
訪問先機関での身分	短期留学生

渡航概要と内容
<p>私は現在、脳卒中片麻痺患者を対象としたリハビリの歩行訓練支援のためのロボット装具に関する研究を行っています。そこで、工学と臨床を融合した研究を行っているMITのThe77labに参加し、リハビリロボットの開発のための新たな視点を得るために渡航しました。</p> <p>MITのThe77Labの研究室の研究活動や、ミーティングに参加しました。現地の研究活動では、患者さんが使いやすい機構を第一事項として、スマホスタンドの作成を行いました。また、並行してほかのメンバーの方が行っている上肢のリハビリトレーニングアプリ開発に関する研究の補助として、実験の被験者としてデータを取りました。自身の研究に関しては、主にミーティングでプレゼンを行い、研究室の方たちと議論を交わしました。</p>

渡航により達成できたこと
<p>多くの現地の人とコミュニケーションを取るという目標は達成することができたと感じています。ホームステイ先のご家庭にはたくさんの訪問者がおり、彼らと積極的に話すことで最初は聞き取りにくかった現地の人の発音も徐々に聞き取れるようになりました。また、それ以外にも休日にはMeetupというアプリを用いてランゲージエクステンジに参加しました。そこには日本語勉強中の外国人の方がたくさんいて、日本語が少しわかる彼らと話すことで自分も恥ずかしくがらずに積極的に英語を話すことができました。木曜日の夜にはスタートアップ企業や現地の学生が集まるCTCイベントに参加し、現地の方と交流しました。こうしてネイティブスピーカーと会話を重ねることで間違える怖さがなくなり、どんどん挑戦していけるようになりました。</p>

渡航を通じて感じたこと・学んだこと

日本ではリスニングに自信はありましたが、現地の人と話している内容を聞くのはかなり難しかったです。人それぞれなまりやスピードなどが異なり、日本の教科書やTOEICのようなきれいな聞きやすい英語を理解できていても実際の英語力とは程遠いのかなと感じました。それでも何とか伝えようとする気持ちを汲み取ってくれて優しく対応していただけて人のやさしさに触れられた気がします。

今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

今回の留学を通して、語学面と研究面の両方において成長と課題を実感しました。語学力に関しては、渡航中の3週間で聞き取り能力が上がったり、以前より長い文を話せるようになったりと、わずかながらも成長を実感しました。ただ、実際の会話では思うように自分の考えを伝えられない場面も多く、今後も英語学習を継続していく必要があると感じました。研究面においても、現地で指示をしてくださったポスドクの方から「これくらいわかるだろう」と言われた内容が理解できず、自身の未熟さを痛感するとともに、とても悔しい思いをしました。

この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

数週間の滞在を振り返り思うことは、事前準備をしておくことはもちろん大切ですが、実際の場面ではある程度の開き直りも必要だということです。何とかしようとする姿勢があれば周りの方の助けもいただきながら乗り越えることができました。現代はネット社会であり、多くの情報はインターネットで得ることができますが、その場その場で詳しい人に訪ねるのが1番正確で早い場合も多いと感じました。私自身も今回の渡航中現地の人に幾度となく助けていただきました。

特に初めて海外に行く方は、不安で緊張もすると思いますが、必要以上に怖がる必要はありません。全体を通して言えることは、気持ちの問題です。失敗したりうまくいかなかったりしても、「これも人生経験だ」と捉えることで前向きに受け止めることができました。なので思い切っているいろんなことに踏み出してほしいと思いますし、自分自身もチャレンジを続けていくつもりです。

また、これは失敗談ですが、採択から出発まであまり時間がなかったこともあり、値段が上がる前に急いで、とにかく安さ優先で航空券を取ってしまいました。航空会社の特徴や現地の評価、トランジット時間などよく見てから購入することをお勧めします。

計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

渡航費(往復)	173,712円
海外旅行保険	8,330円
学費(教科書代や大学等プログラム授業料等)	
宿泊費	136,000円
光熱費	
食費	50,000円
その他	200,000円
合計	568,042円